

2020年1月23日

各 位

会 社 名：ウインテスト株式会社
(コード：6721 東証二部)
代表者名：代表取締役社長 姜 輝
問合せ先：専務取締役 樋口 真康
(TEL：045-317-7888)

資金使途の変更に関するお知らせ

2019年7月30日付にてお知らせしました、2016年6月17日付「第三者割当により発行される第6回および第7回新株予約権」に係る資金使途の変更につき、支出予定時期を再度下記のとおり変更することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 変更理由

当社は2019年7月31日に公表いたしましたとおり、2016年6月17日開催の取締役会において、第三者割当により発行される第6回新株予約権及び第7回新株予約権（以下、総称して「本新株予約権」といいます。）の募集を行うことを決議し、その資金使途であるM&A案件及び同マーケティング費用の支出としてまいりましたが、資金使途の一部を除き、M&Aの遅延を受けて、当社の成長戦略を計画する上で「新規事業に係るM&Aを加速推進するためには、新規事業方面での技術研究と開発を優先させることが重要である」との結論から、当初の資金使途及び充当事期を変更し、産学連携を中心とした事業開発に充当、また、2019年3月に、山田電音株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役：松井秀夫、以下「山田電音」という）の一部事業である半導体検査装置の開発・製造・販売事業、フラッシュROM書き込みサービスの事業譲渡を同資金の一部で行い、大阪事業所とし完了しました。それら充当後の残額（以下「支出未了額」といいます）に関し、2019年12月末までに新規事業のM&Aへの充当を計画しておりました。

「支出未了額」に関し、新たなM&A案件に向けて、2019年12月末のクロージングを目標に、第三者機関等の協力のもと進めておりましたが、2019年末までにおいて合意に至らなかったことを受け、2020年1月23日開催の定時取締役会にて、再使途変更を決議いたしました。

2. 本件変更の内容

2019年7月31日に公表した資金使途の変更内容及び2020年1月23日に決議した資金の再使途変更は以下のとおりであります。

【変更前】

表 1

| 具体的な用途 成長戦略推進に係る事業資金 | | 金額 百万円 | 変更後の支出予定時期 (西暦) |
|-------------------------|------------------------|--------|---------------------|
| ① | M&A等の資金(第6回新株予約権) | 0 | 2019年3月 充当済み |
| ② | M&A等の資金(第7回新株予約権)支出未了額 | 86 | 2016年8月～2019年12月 予定 |
| ③ | マーケティング費用等(第7回新株予約権) | 5 (5) | 2019年12月 充当済み |

注、上記 () 内は本来の資金用途、充当期間中に予定通り支払いを行ったものとなります。

【変更後】

表 2

| 具体的な用途 | | 金額 百万円 | 変更後の支出予定時期 |
|--------|------|--------|-----------------------|
| ② | 運転資金 | 86 | 2020年2月～2020年7月31日 予定 |

上記①、③は予算充当済みにつき削除

※支出完了額と支出時期の変更 変更部分は_____で示しています。

【2019年12月末時点での支出未了額】 (M&A費用として支出する予定額 8,600万円)

※現在、当社100%出資による中国湖北省武漢市に設立が完了した検査装置の組立工場の操業開始が急務となり、近々に当社の考える新規事業方面で、財務体質や利益水準に合致する企業を見つけることが困難等の判断から、新たなM&Aを断念し、支出未了額(第7回新株予約権)の残金は当面の運転資金の一部に充当する予定です。

3. 今後の見通しと影響

本変更が、当社グループの2020年7月期の連結業績に与える影響は軽微であります。

以上